

沖縄工業高等専門学校		開講年度	平成29年度 (2017年度)		授業科目	英語
科目基礎情報						
科目番号	4003		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	授業		単位の種別と単位数	履修科目: 1		
開設学科	メディア情報工学科		対象学年	4		
開設期	後期		週時間数	0		
教科書/教材	＊図書館備え付けの図書、プリント、マルチメディア教材 ＊新・TOEICテスト直前の技術（ALC） ＊TOEIC公式問題集 vol.1-5（TOEIC運営委員会）（参） ＊TOEIC公式問題で学ぶボキャブラリー（参）					
担当教員	青木 久美					
到達目標						
精読学習を通じ、文法や構文、語彙を強化するとともに、その内容を日本語や英語で説明できるようになる。必要な場合はtranslateできるようになる。YL2.0程度の図書を毎分100語程度の速度で読み、概要を把握できるようになる。また授業内だけでなく、授業外でも自律的に読めるようになる。これらの学習を通じて、TOEICに対応できる英語の読解力を身につける。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
精読学習を通じて、既習の文法や構文を定着させ、語彙を強化する。	辞書を引きながら英字新聞などを読み、その内容、文法、構文などを、ほぼ理解し、英語や日本語で説明することができる。課題をきちんと提出することができる。		辞書を引きながら英字新聞などを読み、その内容、文法、構文などを7-8割理解することができる。課題をきちんと提出することができる。		辞書を引きながら英字新聞などを読み、その内容、文法、構文などを6割以上理解することができない。課題をきちんと提出することができない。	
YL20程度の図書を毎分100語以上の速さで読めるようになり、TOEICに対応できる速読力を身に着ける。	辞書を引きながら英字新聞などを読み、その内容、文法、構文などを、ほぼ理解し、英語や日本語で説明することができる。課題をきちんと提出することができる。		YL2.0程度の図書を毎分100語程度の速さで読み、内容を7-8割理解している。TOEICの換算点が80点以上ある		YL2.0程度の図書を毎分100語程度の速さで読み、内容を6割程度理解できない。TOEICの換算点が60点以上ない。	
授業内外において、自律的に、1週間に6千語以上読書することができる。またその感想を、簡単な英文で書くことができる。	授業内外において1週間に多読図書を6千語以上読める。		YL2.0程度の図書を毎分100語程度の速さで読み、内容を7-8割理解している。TOEICの換算点が80点以上ある		授業内外において1週間に多読図書を4千語以上読めない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	＊英字新聞などから抜粋した、タイムリーな時事問題等を利用した精読、精読を補うための多読をする。 ＊TOEICの模擬試験を解く					
授業の進め方・方法	最初の授業ではTOEIC模擬試験（R）を解き、TOEIC試験に備える。 2回目以降の授業では、約45分間精読を行った後、多読ログなどを書き込み、その後約40分間は多読を行う。 TOEICIP試験も授業に含まれる。					
注意点	＊図書は必ず借りて帰り、授業内外を通じて1週間に6000語以上読むこと。 ＊自律的かつ継続的に多読に取り組み、年度の終わりまでには、YL20程度の図書を日本語を介さずに1分間に100語以上の速さで読めるようになること。 ＊読んだ本のタイトル、YL、語数、シリーズ名、感想をReadingログに記録すること。 ＊時々、Reading読ログをチェックするので、まとめて書き込まないこと。					
授業計画						
後期	3rdQ	週	授業内容		週ごとの到達目標	
		1週	TOEIC演習		TOEIC模試を通じてTOEICの形式に慣れる。	
		2週	TOEICIPテスト		TOEICIPテストを受験し、自分のレベルをはかる。	
		3週	シラバス解説、Reading		シラバスを使って授業の進め方を説明する。毎分100語程度の速度でな物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	
		4週	Reading,Translation		時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	
		5週	Reading,Translation		時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	
		6週	Reading,Translation		時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	
		7週	Reading,Translation		時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	
	4thQ	9週	Reading,Translation		時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	
		10週	Reading,Translation		時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。	

		11週	Reading, Translation	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。
		12週	Reading, Translation	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。
		13週	Reading, Translation	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。
		14週	Reading, Translation	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。
		15週	Reading, Translation	時事問題を利用した精読演習を通じて文法や構文を定着させる。毎分100語程度の速度で物語文や説明文などを読み、その概要を把握できるようになる。授業内外で6000語以上読むことができるようになる。
		16週	期末試験	

評価割合

	定期試験	外部試験	課題				合計
総合評価割合	25	25	50	0	0	0	100
基礎的能力	25	0	15	0	0	0	40
専門的能力	0	25	35	0	0	0	60
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0